

2022年6月1日

持続可能な社会の実現に向けた当社の取組みについて

大樹生命保険株式会社（代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」）は、生命保険事業や CSR 活動を通じて、さまざまな社会的課題の解決に取り組み、安心・安全で持続可能な社会の発展に貢献し、その結果として会社の持続的成長を目指しており、これを「サステナビリティ経営」と位置づけ、推進しています。

今般、CSR 活動（CSR 三本柱）の取組みを強化する観点から、その具体内容についてお知らせします。

今後も、当社の CSR 三本柱である「社会・環境」「いのちと健康」「人の生活の安心」の取組みを中心に、安心・安全で持続可能な社会の実現を目指してまいります。

<CSR三本柱の主な取組み（抜粋）>

①「社会・環境」への取組み

◆CO₂排出量削減目標遂行に向けた取組み

当社は CO₂排出量削減目標を 2030 年度 51%以上削減、2050 年度にはネットゼロと設定しました。当社の事業活動に伴う CO₂排出量は 2020 年度に約 2.5 万 t -CO₂となっており、営業用ビル・事業所における電力使用や生命保険事業での紙使用に伴うものが多くを占めています。今般もあらゆる事業活動を通じて、CO₂削減に取り組んでまいります。

<CO₂排出量削減目標>

2030 年度 △51%以上削減、2050 年度 ネットゼロ（基準年は 2013 年度）

<削減に向けた主な取組み>

営業用ビル・事業所の節電、省エネ対応／紙使用量の削減／出張の削減

◆苗木プレゼント

当社は、「緑・自然を守り、親から子へと美しい緑の街を伝えたい」という願いを込めて、1974 年に「苗木プレゼント」を開始しました。これは、当社が常に訴え続けてきたキャンペーンテーマ「こわさないでください。自然。愛。いのち。」を言葉で終わらせることなく、CSR 活動の一環として形で表現したものです。全国の企業、公共団体、学校、病院などの団体及び一般家庭に対して、気候や生育条件にあった苗木を配布し続けています。苗木は全国各地ですくすくと育ち、心地よい木陰をつくりながら周辺環境の保護や CO₂削減等に役立っています。

2021 年度で 48 回目を迎え、累計 526 万本の苗木をお届けしました

②「いのちと健康」への取組み

◆公益財団法人大樹生命厚生財団

大樹生命厚生財団は、国民の健康保持とその増進をはかり、社会公共の福祉に貢献することを目的として 1967 年に設立されました。この目的に沿い、今日のわが国の健康上の重要課題である生活習慣病に関連する医学研究助成事業等を設立以来一貫して行っています。

医学研究助成

第 54 回「医学研究助成」(2021 年度)は、全国の大学・研究機関の研究者を対象に公募を行い、21 研究に対して助成を行いました。また、第 52 回「医学研究助成」(2019 年度)入選者の研究報告の中から、3 研究を第 30 回「医学研究特別助成」としました。

《助成金の実績》

	2021 年度		累計	
	件数	助成金額	件数	助成金額
医学研究助成	21 件	2,100 万円	1,038 件	11 億 9,700 万円
特別助成	3 件	450 万円	106 件	1 億 3,200 万円
合計	24 件	2,550 万円	1,144 件	13 億 2,900 万円

《研究課題》

2021 年度	2022 年度
①新型コロナウイルス感染症の予防と治療	①新型コロナウイルス感染症の重症化と治療法
②自閉スペクトラム(ASD)の病態解明と治療	②AI の医学への応用
③臓器連関による病態形成と治療	③地域医療構想
④脳卒中再発の予後の改善	④自殺予防

◆乳がん検診受診啓発活動(ピンクリボン運動)および公益財団法人日本対がん協会への協賛

当社は、生命・健康と密接な関係を持つ生命保険業を本業とする会社として、また女性従業員の割合が高い企業として、ピンクリボン運動の趣旨に賛同し、この運動に参画しています。

多くの方に乳がんの早期発見の大切さを伝える「ピンクリボンフェスティバル」(公財)日本対がん協会など主催)に協賛し、乳がんセミナーの実施、チラシなどを用いたお客さま・地域の方々への乳がんについての情報提供や啓発活動などを行っています。

③「人の生活の安心」への取組み

◆スポーツ振興

当社は、全国各地のスポーツ振興および青少年の健全育成を目的として、さまざまな大会・チームに協賛しています。(2022 年 3 月末現在)

- 湘南国際マラソン
- 新潟アルビレックス BB、新潟アルビレックス BB ラビッツ
- 全国小学生ラグビーフットボール大会 ヒーローズカップ
- 筑波大学バスケットボール部男子チーム
- スポーツひのまるキッズ大会
- 日本高校ダンス部選手権



第 14 回ヒーローズカップの様子
(写真提供：(株)博報堂)



スポーツひのまるキッズ大会の様子
(写真提供：(一社)スポーツひのまるキッズ協会)

◆すべての人の人権を尊重する経営の推進

当社は、「大樹生命行動規範」において人権に対する指針を定め、全従業員が職務遂行にあたっています。また人権週間（12/4～10）に向けて、人権の重要性について全従業員が考える機会（人権研修および人権標語運動）を設け、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて理解を深める取組みを行っています。

（参考）サステナビリティ経営の取組み一覧（2022年4月現在）

経営理念	サステナビリティ経営ⅡCSR経営宣言	生命保険による保障やサービスの提供	お客さま満足度の向上・情報提供の充実
			商品・サービス提供を通じた社会的課題への対応
			コーポレートガバナンス、コンプライアンス態勢、リスク管理の強化
	CSR三本柱	社会・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESG 投融資の取組み継続 ・ 苗木プレゼントの継続 ・ “ニッセイの森”への社内募金・寄付の継続 ・ CO₂排出量削減目標遂行に向けた取組み ・ TCFD 提言に基づく開示内容の高度化検討 ・ プラスチックの削減取組み ・ 全役職員による積極的な社会貢献活動への取組み
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 難病・特定疾患患者会の支援の継続 ・ IBD 患者への一定の条件のもとでの生命保険提供の継続 ・ (公財)大樹生命厚生財団への寄付を通じた医学研究助成の継続 ・ 企業献血の実施の継続 ・ ピンクリボン運動の協賛・参加の継続 ・ (公財)日本対がん協会への協賛の継続 ・ 「明美ちゃん基金」への寄付の継続
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 全社防犯運動、オレンジリボン運動への参加の継続 ・ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ・ 働き方改革の取組みの継続 ・ 地域に根差したスポーツへの協賛の継続 ・ 多様な人材が、長くいきいきと活躍できる会社づくり ・ 社内外における研修企画や教育機会の更なる充実 ・ 健康経営の推進(管理者向け研修の充実等) ・ 交通事故抑制に向けた取組みの推進 ・ すべての人の人権を尊重する経営の推進 (社内教育強化・人権標語運動)

以上